

# 野菜の展望

今月の野菜は北日本や高冷地産の出回りとなります。今年は北海道が日照不足気味であったものが程度な日照もあり、順調な出荷が期待されますが、関東から東北にかけては低温多雨日照不足が続く、今後の天候によっては前年同様に、全体的な入荷量にも影響を及ぼす可能性があります。

果菜類の胡瓜は福島産を中心に、石川・長野・山形産の入荷で上中旬までは順調な入荷が見込めますが、下旬からは数量が若干減少すると思われます。南瓜については上中旬が石川産（能登・金沢・加賀）主力となりますが、下旬には北海道産中心へと移行します。茄子は石川産を中心に群馬・山形・茨城産の入荷があり、長茄子は石川・群馬からの入荷となります。トマトは岐阜産主体に旧盆明けより石川産の抑制物の入荷が始まります。ピーマン・とうもろこしは共に長野・北海道産が中心の入荷となります。

葉茎野菜類のレタス・白菜は長野産が中心の入荷となります。キャベツは群馬産主力に長野産の入荷です。ブロッコリーは北海道産主体で、他に長野産の入荷となります。ほうれん草は岐阜産の他に、石川産の入荷があるものの、高温による影響から入荷は不安定となります。葱は石川・茨城・埼玉産の入荷で青森産も加わりますが、長雨の影響からやや不安定な入荷となりそうです。小葱類は福岡産を中心に愛知・長野・静岡産の入荷となります。

根菜類の大根は北海道産中心に青森・岐阜産の入荷です。岐阜ひるがのとは北海道ようていが主力となります。各産地作付の減少がみられ、天候によっては入荷が不安定になる可能性があります。人参は北海道産が順調に入荷する見込みです。生育も順調でL・M主力の入荷となりそうです。蓮根は石川産が中心となり、やや生育が遅れていますが、前年並みの入荷量が見込まれます。甘藷については、上旬から石川産の個人物が始まり、下旬からはJA金沢市共選物の入荷となります。

きのこ類の椎茸は石川産菌床物を中心に徳島・富山・長野・岐阜産の入荷があります。高温期となるために入荷減少し、かつ小玉傾向で下位等級品の発生率が高くなると思われます。なめこ・えのき・しめじ類・他きのこ類は、減産の時期に入りますが、集荷には万全を期して参ります。松茸は中国産主体にメキシコ産の入荷で前年並みの入荷となる予想です。石川産の夏茗荷は上旬から増量傾向となりそうです。

土物類の馬鈴薯は北海道産中心に石川（能登）産の入荷となります。北海道産は旧盆明けから増量となる見込みです。メイクインは青森産の入荷となります。玉葱は、月前半は兵庫・富山産中心の入荷で、旧盆前からは北海道産の入荷も始まります。長芋は北海道・青森産の入荷です。おおよそ平年並みの見込みですが、需要期で価格は堅調と思われます。生姜は高知産を中心に一部中国産の入荷で、新生姜については高知産に和歌山産、上旬からは岡山産も加わり、夏の需要期に対応できるよう努めてまいります。

この夏は長期予報では現在の低温・日照不足から平年並みに移行し、暑くなれば食欲不振による購買意欲の低下も予想され、販売環境は厳しいものと考えられますが、夏休み・旧盆など、各種イベントに合わせ、企画立案の上、拡販へのご協力をお願い申し上げます。

《野菜第三部部長 杉本智則》

# 果実の展望

4月の低温、梅雨入り以降の曇天続きにより、全般的には平年に比べ数量減の出荷となっています。

西瓜は県内のJA志賀を主力としてLサイズ中心に上旬一杯の入荷予定となっています。他に長野・山形産の入荷を予定しています。

瓜類は静岡・高知・石川産のアールスメロンの他、北海道産の赤肉メロン（ルピアレッド）・青肉メロン（らいでんクラウン）、山形産のアンデス・クインシー等の入荷となります。

桃は山梨・福島・長野・石川産の入荷となり、昨年並みの出荷となっています。梨は県内産がJA金沢市・松任・加賀からの入荷があります。各産地とも4月の低温、アラレの被害により数量減の出荷が予想されます。

ぶどう類のデラウェアは、県内産が減少すると思われ、旧盆前には山形産が中心となります。また、盆明けについても山形産の露地物主体の入荷となります。巨峰は山梨・長野・石川産の入荷で、主力の山梨・長野産は盆前より増量する見込みです。石川産は種無し巨峰が金沢地区から順調に出回ってきます。マスカットは岡山・山梨・長野産の入荷となります。

ハウスみかんは愛知・佐賀・高知産等の入荷を予定しており、全体的に大玉傾向で、M・L中心の玉流れとなります。各産地、平年並みの入荷が予想されます。

いちじくは愛知・石川・和歌山産の入荷予定です。愛知産については、上旬より露地物の出回りが揃いピークが予想されます。県内産については月初めよりハウス物が入荷する予定で、露地物については中旬以降の入荷見込みとなり、その後は徐々に増量となります。

りんごは長野・石川産（つがる・祝等）の入荷となります。

輸入果実については、主力のバナナはフィリピン産中心に順調な入荷を予定しています。グレープフルーツは40玉・45玉の大玉を中心に南アフリカ産の安定した入荷が見込まれます。レモンは、チリからの安定した入荷となります。オレンジはオーストラリア産ネーブル種に加えて、南アフリカ産バレンシア種の入荷です。パイナップルは、ゴールデンパイン・スウィーティオパインともに小玉を中心に安定した入荷となります。その他にもニュージーランド産キウイフルーツ、カリフォルニア産のハネジューメロン、メキシコ産のアボカド等が入荷します。

今月につきましては盆商戦を控えておりますので、何卒一層の拡販をお願いいたします。

《果実部部長 荒木 智》